



# 大学生4名が国の仕事の就業体験をしました

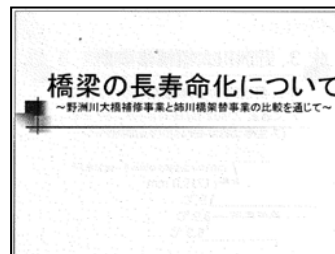
滋賀国レポートNo.14  
交通対策課

- 8月20日から24日までの5日間に渡り、県内外の大学から3回生4名を迎え、国土交通省の仕事である「橋梁の長寿命化」と「道の駅」の研究をテーマに就業体験の実習を行いました。
- 「橋梁の長寿命化」では老朽化した国道8号に架かる野洲川大橋の補修と姉川橋の橋の架替について学び、「道の駅」では塩津海道あぢかまの里、マキノ追坂峠、藤樹の里あどがわにおける情報発信施設の現状把握と有効利用について学びました。

## 5日間の成果を発表



## 姉川橋架替工事の現場を調査



## 実習の概要：

橋の長寿命化を研究テーマとして実習した2人には、国道8号に架かる野洲川大橋の補修工事と姉川橋の架替工事の施工方法について学び、それぞれに必要な工事費用、工事期間、交通への影響などを比較することにより、橋の日常点検を含む維持管理や補修の重要性について学んでもらいました。

道の駅を研究テーマとして実習した2人には、道の駅が持つ休憩機能、情報発信機能、地域連携機能の3つの機能について学び、特に情報発信機能の現状を把握するため、国道8号に位置する塩津海道あぢかまの里と国道161号に位置するマキノ追坂峠、藤樹の里あどがわの3駅の現地調査をすることにより、情報発信施設配置や発信情報の選別、情報の見せ方などについて学ぶとともに、改善策の提案もしてもらいました。